

第18回東京免疫フォーラム

18th Molecular Immunology Forum Tokyo

日時: 2009年3月12日(木) 13:00~18:30

場所: 東京大学医科学研究所 講堂

東京都港区白金台4-6-1

<東京メトロ“白金台駅”下車、徒歩5分>

プログラム

《挨拶》 烏山 一(東京医科歯科大) 13:00~13:05

I. 特別講演 座長:清野 宏(東京大学医科学研究所)

清水孝雄(東京大学医学系研究科) 13:05~14:05

生理活性脂質と膜脂質代謝

II. 粘膜免疫 座長:三宅健介(東京大学医科学研究所)

(1) 鈴木敬一郎(RCAI・粘膜免疫研究チーム) 14:05~14:30

Dynamic interactions between bacteria and immune cells in gut associated lymphoid tissues

(2) 土肥多恵子(国立国際医療センター研究所・消化器疾患研究部) 14:30~14:55

TWEAK/Fn14経路を標的とした消化管の炎症と上皮再生の制御

休憩(10分)

III. シグナル・分化 座長:高木 智(国立国際医療センター研究所)

(1) 山崎 晶(RCAI・免疫シグナル研究グループ) 15:05~15:30

C型レクチンMincleによる自己・非自己リガンドの認識とその意義

(2) 谷内一郎(RCAI・免疫転写制御研究チーム) 15:30~15:55

転写因子ネットワークによる胸腺細胞系列決定機構

(3) 渋谷和子(筑波大学大学院・人間総合科学研究科基礎医学系) 15:55~16:20

腫瘍免疫監視システムにおけるDNAM-1の役割

休憩(10分)

IV. サイトカイン 座長:瀧 伸介(信州大学医学系研究科)

(1) 渡会浩志(RCAI・免疫制御研究グループ) 16:30~16:55

気道過敏症発症に関与する新規細胞集団の同定と抗体を用いた治療応用

(2) 須藤 明(千葉大学大学院医学研究院・遺伝子制御学) 16:55~17:20

CD4陽性T細胞におけるIL-21産生制御機構

V. 公募演題 座長:中島 裕史 (千葉大学大学院医学研究院)

(1) 小幡高士(東京大学医科学研究所・炎症免疫学分野)

17:20~17:35

Indigenous opportunistic bacteria inhabit mammalian gut-associated lymphoid tissues and share a mucosal antibody-mediated symbiosis

(2) 神戸直智 (千葉大学大学院医学研究院・皮膚科学)

17:35~17:50

NLRP3-inflammasome を介した IL-1 β 産生とヒスタミン非依存性蕁麻疹

(3) 向井香織 (東京医科歯科大学・免疫アレルギー)

17:50~18:05

好塩基球によるアレルギー炎症の終焉誘導機構

< 懇 親 会 (演題終了後 於 白金ホール)>

フォーラムへの参加費は無料、懇親会参加費は千円(学生無料)です。

事前登録の必要はありません。